

平成 21 年 6 月 13 日
月心会 西東京本部 浜田山支部
畠山 宙斗

「父母について」

僕は三年前にお父さんとお兄ちゃんと、この空手を始めました。

僕は空手の見学にお父さんとお兄ちゃんといっって、お父さんとお兄ちゃんは、ほかの人の古武道や型を真剣に見学していたけれど、僕はせいざをするのもつかれてしまい、そのままボーとしていました。

そこに市川先生（師範・本部長）に話しかけられて、僕はあわてて先生の話に答えました。

それから三年、僕は苦しみながら成長しつつここまでできました。だから、そのためにたくさん練習をしました。筋肉痛になってもお父さんとお母さんが「大丈夫？」といっってとてもはげましてくれました。

くやしかったことはおとうさんが先に初段になったことです。

お父さんが初段をとってからいっぱい練習し、初段がとれなかったらとか思うととてもくやしくなります。

だから僕も初段にむけて練習しています。

そしてたくさん練習して、お兄ちゃんとお母さんといっしょにお父さんみたいに早く黒帯をとりたいです。